

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	20989
事業名	消防活動費					
評価担当課	所属名	消)警防部 消防救助課				
	課長名	池内 裕司	担当者名	稲場 稔規	電話番号	011-215-2060
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外		
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	災害現場において必要な資機材の整備や消防活動技術の向上を図るため、研修・訓練を実施する。			
		長期	市民の生命、身体及び財産を火災やその他の災害から守るため、消火・救助活動等を行い、安全・安心な街づくりを推進する。			
	取組内容	【目的】各種災害に対して、消火、救助等の各種活動を行い、市民生活の安全を確保する。 【内容】災害時に使用する活動資機材の整備や更新及び消防活動の技術向上を図るための研修・訓練を実施する。				
	実施結果	感染防止対策を講じたうえで、市内及び市外における多種多様な災害対応訓練を実施した。特に、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を想定した訓練は、道内消防本部を含めた大規模なものから、Web会議システムを活用したシミュレーション訓練など、感染状況を適宜捉えて、より効果的・効率的な取り組みを実施した。 また、火災による被害の軽減が期待される「新たな消火戦術」について、本運用開始に向けた検証及び試行運用を積極的に実施した。				
事業実施における工夫点	より効果的な消火戦術や新たな資機材の整備について、現場及び関係課との情報交換を密に行い消防力の向上を図った。					
対象者	市民	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	消防組織法、消防法、国際緊急援助隊の派遣に関する法律、消防力の整備指針(消防庁告示)など					
他都市の状況	関係法令に基づき本市と同様に行われている。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	92,013	70,858	65,740	58,491
うち特定財源	41,032	17,025	15,408	1,025
人工	57.0	57.0	57.0	57.0
人件費	410,400	410,400	410,400	410,400
計(事業費+人件費)	502,413	481,258	476,140	468,891
事業費の内訳	令和3年度決算	現場用資機材:32,935千円、現場用消耗品:28,908千円、旅費(訓練関連等):621千円、その他:3,276千円		
	令和4年度予算	現場用活動用品等:37,636千円、旅費(訓練関連等):8,743千円、その他:12,112千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	各種災害出動件数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	9,036		10,433		
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	災害発生様態により被害規模も異なるため成果指標設定が困難			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	消防活動費は、災害出動時に使用する各種資機材の維持管理や更新のほか、消防活動の技術向上を図るための研修・訓練に係る経費である。今年度については東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会へ向けた訓練を実施し、テロ対策などの特殊な災害に対する対応能力強化を図ったことで、市民に更なる「安全・安心」のサービスを提供できた。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	消防活動費は、様々な費用を包含しており自治体により事業費の切り分けが異なることから、他都市との比較や単位当たりの経費を用いた検証は困難であるが、事業の見直し等により事業費の削減を図っており、規模は適切である。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	研修・訓練の実施にあたっては限られた予算や施設の活用を行い、災害に対しても新たな消火戦術などの検討を行うことで、事業の効率化を図っている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	日常的に発生する各種災害に関しては、市民に対して「安全・安心」のサービスを提供しており、ニーズに応じたものであると考えられる。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	災害が複雑多様化・大規模化している中で、災害の発生状況や活動状況を勘案して必要資機材の取捨選択をしながら整備していく。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	火災現場でのより効果的・効率的な活動が出来るよう、新たな火災対応資器材を開発し、試行的な運用を実施した。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	感染防止対策を講じながら効果的な災害対応を行ったほか、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を意識した訓練等を行い、市民に対して「安全・安心」のサービスを提供できた。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 各種災害対応に必要な資機材の整備を図るとともに、感染防止対策を踏まえた災害対応能力の更なる向上のため、実施方法に工夫を講じながら研修・訓練を継続して実施する。			
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他		見直し効果額	0 千円
		予算内での効率的な運用を検討する。			